

景

況

調

査

(平成31年1月～平成31年3月期)

平成31年1月～3月期の守山企業景況調査の結果は、次の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成31年1月～3月期の調査結果では、業況、売上高の2指標の数値が上昇した。

〈業況〉

業況DIは▲7.0で前回調査の▲13.6から6.6ポイント上昇した。業種別では、小売業▲18.8(前回調査比+18.7)、製造業▲18.2(前回調査比▲34.9)、建設業▲30.0(前回調査比+6.4)、サービス業12.5(前回調査比+18.8)、卸売業50.0(前回調査比+25.0)と製造業を除く4業種で上昇した。

4月～6月期見通しは全体で▲12.5であり、数値は低下している。

〈売上高〉

売上高DIは0.0で前回調査の▲3.4から3.4ポイント上昇した。業種別では、小売業▲18.8(前回調査比+18.7)、製造業0.0(前回調査比▲41.7)、建設業▲30.0(前回調査比+6.4)、サービス業18.8(前回調査比+18.8)、卸売業75.0(前回調査比±0.0)であり、製造業が低下した。

4月～6月期見通しは全体で▲12.5となっており、低下が見込まれている。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲12.3で前回調査の▲10.3より2ポイント低下した。業種別では、小売業▲12.5(前回調査比+12.5)、製造業▲27.3(前回調査比▲45.5)、建設業▲30.0(前回調査比+15.5)、サービス業0.0(前回調査比+6.3)、卸売業25.0

(前回調査比▲25.0)で小売業、建設業、サービス業が上昇した。

4月～6月期見通しは全体で▲17.5であり低下の見通しである。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは1.8で前回調査の5.8から4ポイント低下した。業種別では小売業▲12.5(前回調査比▲5.8)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業10.0(前回調査比▲8.2)、サービス業6.7(前回調査比▲1.6)、卸売業25.0(前回調査比±0.0)であった。

4月～6月期見通しは全体で▲8.3であり、今回調査実績から低下している。

〈その他の意見〉

・人手不足が深刻です

